



三宮 十五郎 議員

水道料金値下げに尽力してほしいがどうか

問

県下で一番高いと言われる海部南部水道企業団【以下「企業団」】の水道料金について聞く。

愛西市、飛島村と本市で構成する水道事業を行う一部事務組合。給水区域は構成市村と蟹江町の一部。事務所は愛西市。

- 料金問題解決のため、尽力してほしいがどうか。
- 県内の他団体と比べ料金の高い原因に、石綿管更新事業【】などの防災対策や経営費用の一部を行政が肩代わりしていることがある。

実態を調べてはどうか。



埋設される石綿材質の管が、過去の大震災で大きな被害を受けたことから、7〜26年度に水道管更新を行っている。市は22年度、約3千万円を負担。

- 配水場の(保水)能力を十分活用して、1日当たり



海部南部水道企業団

の最大配水量を調節し、県水の給水単価を下げる工夫ができないか。

給水原価が高い
難しい

答 市長

- 水道料金が高いのは、県水100%という給水原価【】にあり、大変難しい。企業団の財政状況、経費節約、競争入札も精査しながら、水道料金改定に頑張っていきたい。



地盤沈下対策で地下水汲み上げができず、伏流水や地下水が利用可能な他地域に比べ、給水原価が高くなる。

- 現在、石綿管更新事業に2市1村で年額約6千万円を負担している。これ以上組み入れることはいかがなものかと思う。
- 県との基本料金の契約の仕組みをどうしていくかが、大きなポイントとして上げられる。今後、さまざまな(給水)建設事業があるが、計画を先延ばしする気持ちもあってもいい。収支バランスをしっかりとらなければならぬ。

滞納処分は法に基づいて停止を

問

市税等について聞く。

- 最低生活非課税の立場で、減免が有効に機能するよう、どのような検討がされているのか。

- 生活保護基準の場合など、滞納処分停止を法に基づいて実施すべきではないか。

生活保護基準を
参考に定めた

答 税務課長

- 前年所得200万円以下の人2分の1以下に至った場合に住民税を減免する規定を、(配偶者や扶養家族の数を考慮して)単身者との均衡を図るため見直しを進めている。

答 収納課長

- 強制的な徴収が適当でない場合もある。

法の趣旨を考慮し、実施要領を定めた。生活保護基準を参考に(滞納処分の停止)行っていきたい。